

経営比較分析表（令和5年度決算）

兵庫県 加東市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	68.93	3.20	93.63	3,146

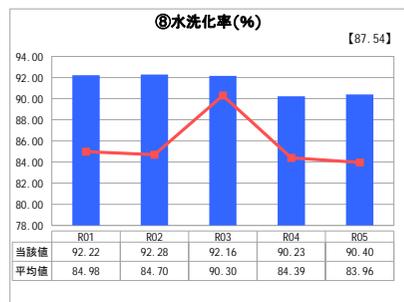
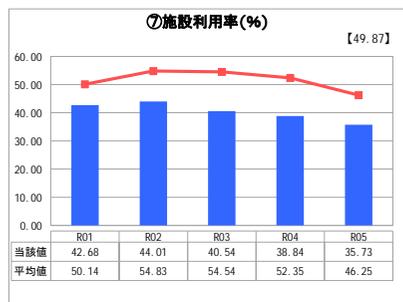
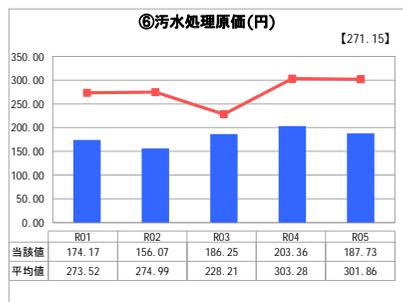
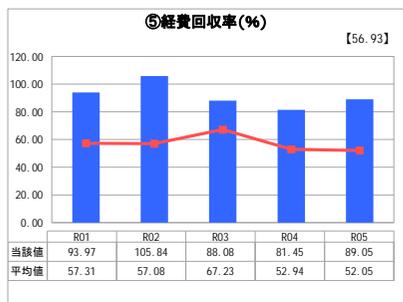
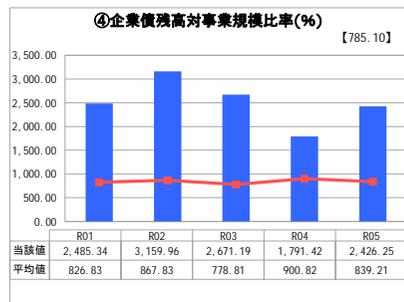
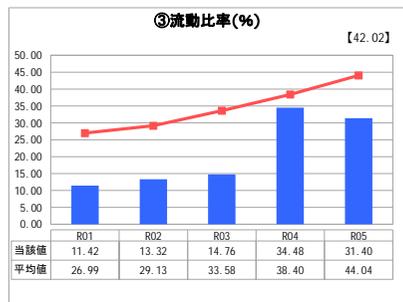
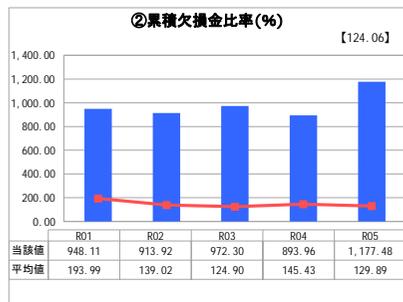
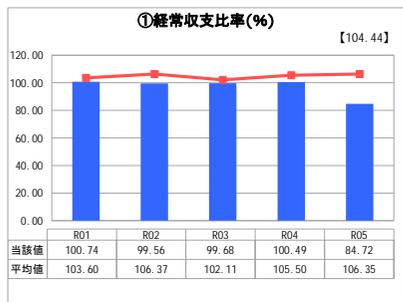
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
39,681	157.55	251.86
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
1,261	0.41	3,075.61

グラフ凡例

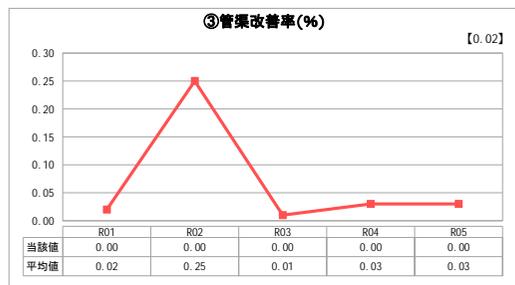
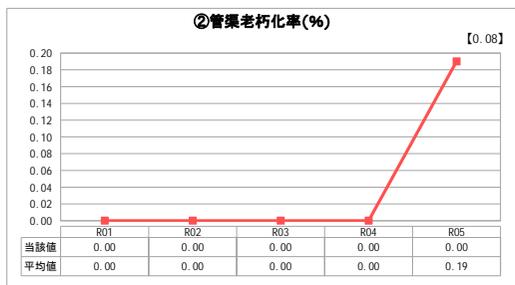
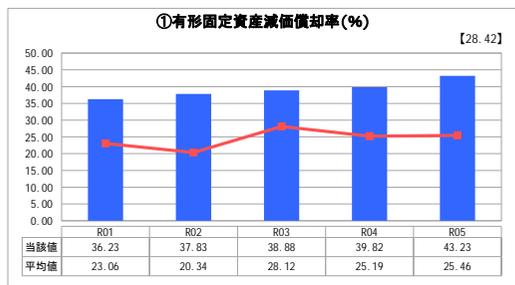
- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)

【】 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率は、農業集落排水事業により整備した下水道を公共下水道（広義）に接続する工事（以下「下水処理場統合整備」という。）の事業進捗に伴い、前年度比15.77ポイント減少している。
 ② 累積欠損金比率は、類似団体平均値と比べ高いが、本事業により整備した下水道を公共下水道（広義）に接続する工事を行い、経営の効率化による大幅な収支改善を図ることで、赤字を解消していく。
 ③ 流動比率は、流動資産の現金預金が少なく、流動負債の企業債元金償還が多いため、100%未満となっているが、1年以内に支払うべき債務に対する支払いはできている。
 ④ 企業債残高対事業規模比率は、下水処理場統合整備の事業進捗に伴い、前年度比で増加しているが、今後、処理場の改築がなくなるため、企業債の借入は抑制される。
 ⑤ 経費回収率は、下水処理場統合整備の事業進捗に伴い、使用料収入及び汚水処理費が他事業会計へ移行している状況にあるが、類似団体平均値を上回っている。
 ⑥ 汚水処理原価は、下水処理場統合整備の事業進捗に伴い、前年度に比べ15.63円減少している。
 ⑦ 施設利用率は、類似団体平均値よりも低い、下水処理場統合整備による施設利用の効率化を図る。
 ⑧ 水洗化率は高く、適正に使用料収入を得られる環境にある。

2. 老朽化の状況について

① 有形固定資産減価償却率は、類似団体平均値を上回っているが、下水処理場統合整備により他事業会計へ固定資産を移行している状況にある。生活排水処理場の廃止による効率化を図りつつ、管渠等の老朽施設は、計画的に更新を行っていく必要がある。
 ② 法定耐用年数を超えた管渠はない。引き続き適切な維持管理と計画的な修繕を行っていく。

全体総括

本事業会計は、下水処理場統合整備により令和9年度の事業完了をもって廃止する予定である。当市の下水道ビジョン及び経営戦略に掲げた施策目標「持続」と「リスクの抑制」の達成に向けて、下水処理場統合整備やストックマネジメントなどの事業を着実に実施するとともに、進捗管理を行い、事業の効率化及び財政基盤の強化を図ることで、経営の健全化を目指す。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のための類似団体平均値及び全国平均を算出しています。